

報告第 1 4 号

令和 5 年度一般財団法人大阪はびきの観光局の事業状況及び決算の報告について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、令和 5 年度一般財団法人大阪はびきの観光局の事業状況及び決算を、別紙のとおり報告する。

令和 6 年 5 月 30 日 提出

羽曳野市長 山入端 創

令和 5 年度

事業状況及び決算報告書

一般財団法人 大阪はびきの観光局

一般財団法人 大阪はびきの観光局

2023(令和5)年度事業報告書



2024年 4 月

一般財団法人 大阪はびきの観光局 2023(令和5)年度事業報告書

2024 年 4 月



羽曳野市の歴史・文化・産業その他の特性を活かし、観光関連産業の振興を総合的に推進するため、大阪はびきの観光局 2023(令和 5)年度事業計画に基づき下記の事業を実施した。

1. 観光推進企画事業

- (1) 公益財団法人大阪観光局と連携し、国内旅行者の動向把握にむけた 2023 年度大阪版国内観光統計調査(観光地点パラメータ調査)を実施。

また、旅行者の周遊や消費傾向を把握するため大阪観光局が主催するマーケティングセミナーに参加した。7 月 27 日、11 月 2 日、2 月 29 日

- (2) 南河内の市町村で運営している「華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会」が主催するイベントなどに積極的に参加し、広域的な観光関連事業を推進した。

○華やいで南海イベント 8 月 18 日～20 日

○華やいで大阪広域観光研修会 2 月 27 日

- (3) 産・官・学の連携により観光振興を図るため、新たな取り組みを推進した。

○村川学園(大阪調理製菓専門学校)との連携により、羽曳野のフルーツを使ったお土産やお肉を使ったメニューの開発について協議した。

8 月 23 日、1 月 16 日 (継続案件)

関連セミナー 観光と食「フードツーリズム」に参加 1 月 18 日

○株式会社 JTB、四天王寺大学と連携し、学生ガイド育成セミナーを新たに構築し、実施した。3 月 19 日

○四天王寺大学公開シンポジウム「ヤマトタケル」に参加した。2 月 24 日

- (4)『大阪・関西万博2025』に向け、観光振興とシティーセールスにつなげるため、各種取り組みへの参加や、万博を契機にしたインバウンドを視野に入れ台湾でのPRを実施した。

○もうすぐ万博開幕 500 日前！ EXPO FES！ 10 月 21～22 日

羽曳野市の PR と特産品の販売

○大阪・関西万博の共創パートナーとして登録 12 月 7 日

○ EXPO マッチング商談会に参加 2 月 9 日

○台湾「梅酒祭」フェアに参加(株式会社河内ワインに同行)し、羽曳野の魅力を PR した 7 月 8～10 日

- (5)スポーツ・観光大使であるダルビッシュ有投手及びダルビッシュミュージアムと連携し、羽曳野の特産品を PR した。

○シャインマスカットの販売 in ダルビッシュコート 8 月 26 日

○大阪ヌーボー試飲会 in ダルビッシュコート 10 月 15 日

○クリスマス試飲会 in ダルビッシュコート 12 月 24 日

- (6)旧浅野家住宅の活用については、羽曳野市の取り組み状況に関して情報共有を図った。(継続案件)。

2. 観光情報発信事業

- (1) 民間事業者との連携で新たな企画により羽曳野の魅力を発信した。

○NMB48 塩月希依音さんが YouTube「ケイト旅」で羽曳野市内を撮影した。

8 月 21 日、1 月 5 日

大阪はびきの観光局 PV を制作(30 秒、60 秒、焼肉バージョンの 3 本)

- (2)はびきの観光局の HP、X(旧ツイッター)、インスタグラムでイベントや公式ツアー、バス補助金制度のお知らせなどを新着情報として発信した。

- (3)ふるさと納税の PR をとおして、羽曳野市の特産品の振興を図った。

- (4)各種メディア等を通して羽曳野の魅力を発信した。

○J:COM ニュース生放送「イチジク」PR 8 月 31 日

○関西情報ネット「ニュース ten」イチジク取材 中継車 8 月 31 日

○NHK 朝イチ イチジク 生中継 9 月 13 日

○観光振興セミナー2023 への参加 8 月 25 日

○J:COM「自転車ってめっちゃ楽しい！」ロケ対応 10 月 6 日

- J:COM「かもん！おおさかもん」放送開始 10 月 16 日
- 大阪観光局焼肉特集「焼肉を食べるなら羽曳野へ！」の取材 11 月 10 日
- J:COM ジモト トピックス 放送 11 月 11 日
- J:COM「じもとトピックス」放送 牛王侍パフォーマンス 2 月 10 日
- 朝日新聞取材「古墳酵母を使った陵ワイン」 12 月 26 日

(5) ツーリズム EXPO ジャパン大阪・関西 2023(10 月 26～29 日)に出展し、羽曳野の PR を行った。

(6) 地域観光新発見スペシャルトークとして、ダルビッシュ郁代さんと大谷理事長が観光について対談した。2 月 2 日、2 月 13 日

(7) 海外への情報発信として、台湾の方に向けた日本の観光情報サイト「ラーチーゴー」を運営するジーリーメディアグループと連携し、羽曳野市の情報発信を行った。

- 台湾「ラーチーゴー日本！」取材対応 9 月 27～28 日
- 訪日観光メディア「ラーチーゴー日本！」記事公開 11 月 16 日～

3. まちづくり活性化事業

(1) 羽曳野市の特産品等を活用し羽曳野の魅力を PR した。

- ① 大阪ワイナリーフェス 2023 in 羽曳野 4 月 23 日
大阪ワイナリー協会主催 来場者 2,500 人
セレッソ大阪羽曳野市民デーでのワインの試飲 9 月 30 日
日本ワイン EXPO2023 in OSAKA 12 月 3 日
- ② 古墳にコーフン♡ツアー2023(藤井寺イオン) 新酒の試飲会 11 月 4 日
美原区民まつり 11 月 5 日
古墳フェスはにこっと(高槻市) 11 月 26 日
- ③『はびきの肉まつり 2023』feat.「日本の食まつり」の開催 10 月 28～29 日
南大阪食肉卸商業協同組合と共催 来場者 1 万人(2 日間)
- ④ 羽曳が丘郵便局での シャインマスカット PR イベントの実施 8 月 9 日
ハーベス LINKS UMEDA 店で、シャインマスカットの販売 8 月 27 日
- ⑤ 民間事業者と連携した特産品の普及
野菜マルシェ(古市駅東側広場) 5 月 10 日、6 月 14 日、
コトコトまるしえ(古市駅東側広場) 7 月 19 日、8 月 23 日、10 月 2 日、
11 月 23 日、12 月 10 日、1 月 17 日、2 月 18 日、3 月 17 日
えきまえマルシェ(恵我ノ荘駅前) 9 月 1 日

イチジクマルシェ 9 月 9 日(古市駅東側広場)

LIC「ホイリゲ」イベント 11 月 11 日

LIC はびきのまるとカルチャーフェスティバル 3 月 17 日

(2)世界文化遺産や歴史資産を活用した事業

① 世界文化遺産(百舌鳥・古市古墳群)の PR 活動

埴輪づくりコンテスト表彰式(LIC)大蔵屋主催 8 月 27 日

堺市音楽祭に参加(特産品の販売)10 月 7 日

古墳 DE るるる 11 月 12 日

J:COM ふわっと欣様 世界遺産放送 2 月 6 日

② 日本遺産(竹内街道)の PR 活動

歴史街道推進協議会 4 月 11 日

竹内街道まつり 10 月 21 日

歴史街道リレーウォーク 11 月 25 日

電車 de 竹内街道・横大路(大道)マルシェ in 大阪阿部野橋駅

1 月 27~28 日

(3)地域資源を活用したまちづくり事業

①~③魅力あるパッケージの造成や日帰り観光ツアーの企画、体験プログラムの開発や普及を行った。

大阪はびきの観光局 HP より公式ツアー販売開始 11 月 1 日

大阪観光局羽曳野絶品肉はしごツアー取材 11 月 10 日

Deep Experience 株式会社がツアーを造成し販売開始。

教育プログラム(モニターツアー)11 月 18 日

2024 年 4 月 1 日から全国の旅行会社で販売開始

河内ワイン フォーティーズ(酒蔵巡り tour)12 月 5 日

学生ガイド育成セミナー3 月 19 日

阪急交通社:ワイナリー・酒蔵巡りツアー3 月 23 日

よみがえれ 1600 年前のハニワ接合体験(モニターツアー)3 月 29 日

(4)フィルムコミッション事業の推進

映画「ヤマトタケル」の制作支援を通じて、新たな地域の魅力発信やイベントを開催した。

映画「ヤマトタケル」制作委員会 4 月 13 日

映画「ヤマトタケル制作発表」(白鳥神社) 5 月 10 日

映画「ヤマトタケル」オーディション 6 月 3~4 日

映画「ヤマトタケル」実写版の羽曳野市内での撮影 11 月 3~5 日

IBU 公開シンポジウム「ヤマトタケル」2 月 17 日、2 月 24 日

(5)産官学の連携による新たな特産品の開発やPRの推進

○コット ベーグルスタンド(古市)が、イチジクベーグルを販売した

○長崎堂とシャインマスカット、イチジクを使ったスイーツやお土産の開発について協議した。2月7日(継続案件)

○シノリクフェスタに参加し特産品を販売した。10月22日

4. 観光施設等管理運営事業

はびきのビジターセンター(1階)やセミナールーム(3階)を活用し事業を実施した。

(1)「はびきのビジターセンター」で来訪者への観光情報の提供(冊子やチラシの配布)や特産品等の販売を行った。Instagramでの情報発信も行った。

(2)羽曳野まち歩きガイドの会による来訪者の受入れ

4月10日、5月26日、9月8日、10月6日、11月20日

(3)四天王寺大学と連携し観光ボランティア育成講座を実施 3月19日

(4)駒ヶ谷駅西側公園内ハウスの有効活用について、現状の課題を羽曳野市と情報共有した(継続案件)。

5. 事業計画の推進及びアクションプランの策定

(1)「大阪はびきの観光プロジェクト」Towards2025に沿って観光振興を図った。

(2)大阪はびきの観光プロジェクトを推進するための具体的かつ中期的な事業プランであるアクションプランの策定について検討を図った。

6. 賛助会員の募集、地域人材の発掘育成

(1)観光局の目的に賛同し、事業活動に協力していただける団体・個人の賛助会員を募集し、会員申込をしていただいた。

2023年度 31会員 会費 71万円

2024年度 73会員 会費 118万円

(2)地域で頑張り、今年度から自主事業のイベントを開催しているコトコトマルシェに対して、運営支援モデル事業の検討を行った。

7. 広域連携の充実

世界遺産で連携している藤井寺市や堺市、ワインやぶどうで繋がりのある柏原市などと連携するとともに、「華やいで大阪・南河内観光キャンペーン協議会」や「竹内街道・横大路活性化実行委員会」、「大阪ワイナリー協会」や「関西ワイナリー協会」など、より広域的な活動にも積極的に参画した。

8. その他

○特産品の販路拡大(2023 年度実績)

(パーク フロント ホテル アット ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)

牛肉、シャインマスカット、イチジクソース、さしみ卵

(ホテル イット) * 東ビルエンタープライズ株式会社

ワイン

(ホテルプラザオーサカ)

ローストビーフ

(神戸クルーザー) * ルミナス神戸2、コンチェルト

シャインマスカット、イチゴ

(THE KAEN 高島屋大阪店)

いちご

〈営業中〉近鉄・都ホテルズ、ホテルモントレ、ホテルニューオータニ大阪等

○大阪 DC(デスティネーション)キャンペーン

プレキャンペーンでのコンテンツ

「河内ワイン」見学試飲プラン

飛鳥ワイナリーツアー

世界遺産「応神天皇陵古墳」と誉田八幡宮の国宝

世界遺産と日本遺産を巡る(御陵印押印体験)

よみがえれ！1600年前のハニワの接合体験

本キャンペーンに向けて 19コンテンツの造成

○ガストロノミーツーリズム(大阪府公募案件)

ガストロノミーツーリズムモニターツアーの実施 2月27日

ガストロノミーツーリズムモニターツアーの報告会 3月19日

* ガストロノミー関連は 2024 年度も継続して公募される予定。

○市内を周遊する旅行バスツアーへの補助金交付。

2023 年度実績は 8 月の 3 団体を合わせて、9 団体、約 300 人

* 2024 年度も継続して実施。

○教育旅行プログラムバスツアーへの補助金交付

2024 年度から活用できるように小・中・高等学校、専門学校、支援学校等が実施する羽曳野市教育旅行プログラム参加のバスへ補助金を交付する施策を実施。

○BOUKUN(オンライン予約販売決済システム)の活用

大阪はびきの観光局の HP からコンテンツを購入できる取り組み。

5 月 26 日に「河内ワイン」と「焼肉牛王」コラボのワンランク上の BBQ(おひとり 7,000 円)については、MAX40 名が販売開始 1 週間で完売となった。

2023(令和 5)年度

決 算 報 告 書

第 2 期

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

一般財団法人 大阪はびきの観光局

大阪府羽曳野市古市一丁目 1 番 21 号

貸借対照表

2024年03月31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,190,469	7,281,231	9,909,238
未収金	273,821	1,978,397	△1,704,576
立替金	4,000	0	4,000
商品	280,093	148,580	131,513
貯蔵品	69,563	258,500	△188,937
流動資産合計	17,817,946	9,666,708	8,151,238
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
(2) その他固定資産			
構築物	390,463	492,323	△101,860
車両	1,027,464	1,379,734	△352,270
什器備品	342,085	0	342,085
建物附属設備	6,616,478	7,099,975	△483,497
ソフトウェア	2,555,481	3,900,165	△1,344,684
その他固定資産合計	10,931,971	12,872,197	△1,940,226
固定資産合計	15,931,971	17,872,197	△1,940,226
資産合計	33,749,917	27,538,905	6,211,012
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	11,797,368	6,983,811	4,813,557
前受金	460,830	0	460,830
預り金	157,814	138,210	19,604
流動負債合計	12,416,012	7,122,021	5,293,991
負債合計	12,416,012	7,122,021	5,293,991
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産	5,000,000	5,000,000	0
基本財産	5,000,000	5,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	0
2. 一般正味財産	16,333,905	15,416,884	917,021
正味財産合計	21,333,905	20,416,884	917,021
負債及び正味財産合計	33,749,917	27,538,905	6,211,012

正味財産増減計算書

2023年04月01日 から 2024年03月31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	85	0	85
基本財産受取利息	85	0	85
事業収益	4,316,333	2,055,822	2,260,511
物産品等販売事業収益	4,002,935	80,452	3,922,483
広告収入事業収益	43,270	0	43,270
受託業務事業収益	0	1,975,370	△1,975,370
受取手数料収益	263,128	0	263,128
その他収入事業収益	7,000	0	7,000
受取補助金	50,861,221	31,058,890	19,802,331
受取羽曳野市補助金	50,861,221	31,058,890	19,802,331
受取観光関連企画運営事業補助金	1,942,091	0	1,942,091
受取観光情報発信事業補助金	3,682,266	5,100,000	△1,417,734
受取まちづくり活性化関連事業補助金	3,759,808	2,000,000	1,759,808
受取観光施設等管理事業補助金	30,116,138	10,500,000	19,616,138
受取財団法人運営補助事業補助金	11,360,918	7,058,890	4,302,028
受取事務所開設準備事業補助金	0	6,400,000	△6,400,000
受取寄付金	303,029	0	303,029
受取寄付金	303,029	0	303,029
受取負担金	300,000	0	300,000
受取負担金	300,000	0	300,000
受取会費	730,000	0	730,000
受取賛助会員会費	730,000	0	730,000
雑収益	130,652	81,785	48,867
受取利息	274	53	221
雑収益	130,378	81,732	48,646
経常収益計	56,641,320	33,196,497	23,444,823
(2) 経常費用			
事業費	43,295,226	2,625,866	40,669,360
商品仕入	2,256,294	80,011	2,176,283
会計年度任用職員給与手当	2,000,000	0	2,000,000
臨時職員賃金	74,529	0	74,529
会議費	230,007	0	230,007

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
交際費	35,750	0	35,750
旅費交通費	169,750	1,000	168,750
海外出張費	75,000	0	75,000
通信運搬費	441,794	0	441,794
業務委託費	6,002,964	468,600	5,534,364
消耗品費	306,846	597,859	△291,013
燃料費	20,523	0	20,523
光熱水費	673,276	0	673,276
賃借料	13,464,000	0	13,464,000
リース料	2,279,640	0	2,279,640
広告料	1,628,449	333,370	1,295,079
出演料	25,500	567,000	△541,500
保険料	71,510	5,040	66,470
諸謝金	0	235,702	△235,702
雑費	2,293	175,939	△173,646
減価償却費	1,631,625	150,675	1,480,950
支払手数料	219,781	10,670	209,111
支払負担金	11,535,695	0	11,535,695
支払助成金	60,000	0	60,000
諸会費	90,000	0	90,000
管理費	11,948,273	15,127,147	△3,178,874
役員報酬	180,000	200,000	△20,000
会計年度任用職員給与手当	3,444,824	189,639	3,255,185
法定福利費	221,115	7,343	213,772
福利厚生費	5,000	0	5,000
会議費	1,000	0	1,000
旅費交通費	439,050	105,730	333,320
通信運搬費	46,573	105,169	△58,596
業務委託費	263,951	87,110	176,841
消耗什器備品費	0	380,600	△380,600
消耗品費	692,024	1,351,648	△659,624
修繕費	117,293	0	117,293
燃料費	47,548	5,013	42,535
光熱水費	0	141,479	△141,479
賃借料	0	6,710,000	△6,710,000
リース料	0	648,615	△648,615
保険料	252,870	258,810	△5,940
雑費	5,346	16,282	△10,936

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
減価償却費	654,289	137,958	516,331
租税公課	18,850	82,900	△64,050
支払手数料	166,540	1,126,595	△960,055
支払負担金	5,382,000	3,567,736	1,814,264
支払寄付金	0	1,000	△1,000
図書購入費	0	3,520	△3,520
研修費	10,000	0	10,000
経常費用計	55,243,499	17,753,013	37,490,486
当期経常増減額	1,397,821	15,443,484	△14,045,663
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,397,821	15,443,484	△14,045,663
法人税、住民税及び事業税	480,800	26,600	454,200
当期一般正味財産増減額	917,021	15,416,884	△14,499,863
一般正味財産期首残高	15,416,884	0	15,416,884
一般正味財産期末残高	16,333,905	15,416,884	917,021
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	21,333,905	20,416,884	917,021

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

決算は、公益法人会計基準(平成 20 年 4 月 11 日 平成 21 年 10 月 16 日改正 令和 2 年 5 月 15 日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(1)棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品：最終仕入原価法

(2)固定資産の減価償却の方法

構築物：定額法

建物附属設備：定額法

ソフトウェア：定額法

車両運搬具：定額法

什器備品：定額法

(3)消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式による。

2.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残額は次のとおりである。 (単位：円)

科目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	5,000,0000	0	0	5,000,000
合計	5,000,0000	0	0	5,000,000

3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
基本財産				
定期預金	5,000,000	0	0	0
合計	5,000,000	0	0	0

4.担保に供している資産

該当事項なし

5.保証債務等の偶発債務

該当事項なし

6.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

交付者	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
羽曳野市	0	50,861,221	50,861,221	0

附属明細書

1.基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため省略。

2.引当金の明細

該当事項なし

財 産 目 録

2024年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金			
	1F	はびきのビジターセンター	3月29日～31日売上	3,536
	2F	事務局	小口現金として	14,774
	釣銭現金			
	1F	はびきのビジターセンター	釣銭として	30,000
	2F	法人事務所	釣銭として	50,000
			現金小計	98,310
	普通預金			
		りそな銀行羽曳野支店	運転資金及び事業資金	17,092,159
			現預金合計	17,190,469
	未収金			
	物産品等販売事業収入	はびきのビジターセンター売上等未収金	事業資金	253,621
	物産品等仲立事業収入	販売協力金未収金	事業資金	13,200
	その他収入事業収入	セミナールーム利用料未収金	事業資金	7,000
			未収金小計	273,821
	立替金	ガストロノミーツアー立替金		4,000
	商品	物販商品	事業資金	280,093
	貯蔵品	切手等	事業資金	69,563
流動資産合計				17,817,946
(固定資産)				
基本財産	定期預金	りそな銀行羽曳野支店	設立時拠出財産	5,000,000
			基本財産合計	5,000,000
その他固定資産	構築物	法人事務所	看板	390,463
	車両	社用車		1,027,464
	什器備品	陳列棚		342,085
	建物附属設備	法人事務所	空調設備等	6,616,478
	ソフトウェア	法人事務所	法人HP、会計システム	2,555,481
			その他固定資産合計	10,931,971
固定資産合計				15,931,971
資産合計				33,749,917
(流動負債)				
	未払金			
	給与手当	3月分スタッフ職員	運転資金	450,097
	旅費交通費	2月・3月分	運転資金	15,290
	観光施設等管理事業	事業費に対する未払金	事業資金	779,638
	物産品等販売事業	事業費に対する未払金	事業資金	778,673
	まちづくり活性化関連事業	事業費に対する未払金	事業資金	20,605
	財団法人運営補助事業	管理費に対する未払金	運転資金	362,030
	観光情報発信事業	事業費に対する未払金	事業資金	1,136,240
	観光関連企画運営事業	事業費に対する未払金	事業資金	1,012,330
	什器備品購入費	什器備品取得に係る未払金	事業資金	345,686
	羽曳野市補助金	精算返納金		6,896,779
			未払金小計	11,797,368
	前受金	賛助会員会費等前受金	運転資金	460,830
	預り金			
	源泉所得税等預り金	法定控除預り金	運転資金	63,912
	その他預り金	委託販売預り金	事業資金	93,902
			預り金小計	157,814
流動負債合計				12,416,012
負債合計				12,416,012
正味財産				21,333,905

2024年5月9日

一般財団法人 大阪はびきの観光局
理事長 太谷 常一 様

一般財団法人 大阪はびきの観光局
監事 谷口 哲也



監事監査報告書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(以下「法」という。)第197条において準用する法第99条の規定に基づき、2023年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について下記のとおり報告いたします。

記

1. 監査の方法及びその内容
当法人の理事(以下「理事者」という。)との意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事者から職務の執行状況等について報告を受け、疑義が生じた内容に関しては説明を求めました。
また、2023年度における計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び会計帳簿等を確認し、当法人の業務及び財産の状況を調査いたしました。
2. 監査の結果
事業報告書に関しては、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく記載していました。
理事の職務の遂行については、不正な行為又は法令若しくは定款に違反する事実は認められませんでした。
決算報告書(計算書類関係)については、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に記載していました。

以上